

## 『小兒論』ハングル表記満洲語文語索引\*

王 海波  
(嶺南師範学院)

キーワード: 『小兒論』、ハングル表記、満洲語文語

### 1. はじめに

朝鮮時代の司譯院は、外交通訳を担うと同時に、外国語教育機関としても機能していた。ここには漢学・倭学・蒙学・女真学の四学が置かれ、満洲人の入関後には女真学が清学へと改められた。現存する清学書としては、読本類の『八歳兒』・『小兒論』・『三譯総解』・『清語老乞大』と、辞書類の『同文類解』・『漢清文鑑』が挙げられる(小倉 1914a: 44-45; 1914b: 257-262; Lie 1972: 19-21; 邵磊 2011: 290)。

清学書におけるハングル表記の満洲語文語は、必ずしも満洲文字で書かれた満洲語文語を一对一で転写したものではない。例えば、満洲語文語の CVwV (C=子音、V=単母音または二重母音) に相当する語形が、ハングル表記では1音節で書かれる場合もあれば、2音節で書かれる場合もある。また、満洲語文語の e に対応するハングル表記や io に対応するハングル表記などにも、それぞれ複数の対応形式が見られる。ハングル表記の満洲語文語は、満洲文字では表しきれない発音上の細部を、ある程度反映している可能性がある。清学書における満洲語文語の満洲文字表記とハングル表記の対応関係に関する研究としては、池上(1951; 1954; 1963)、今西(1958)、성백인(1984)、岸田(1989)、Ikegami(1990)、崔宰宇(1997)、菅野(2005)、邵磊(2011; 2016)、和田(2013)、王敵非(2013)、邵磊・多麗梅(2022; 2023)、邵磊・金龍軍(2022)、邵磊・林茶英(2022)、邵磊・王敵非(2022)、邵磊・任國俊(2023)などが挙げられる。

満洲文字とハングルの表記対応の問題を検討するには、ハングルで記された満洲語文語の語を、対応するメレンドルフ式転写にもとづいて配列し、整理する作業が有効であると考えられる。そこで本稿では、清学書『小兒論』にあるハングル表記の満洲語文語の語について、メレンドルフ式転写にもとづき索引を作成する。

### 2. ハングル表記満洲語文語の索引

次表は、清学書『小兒論』におけるハングル表記の満洲語文語の語形を、メレンドルフ式転写のアルファベット順に配列したものである。

[1] 第1列には、満洲文字で書かれた語のローマ字転写(メレンドルフ式転写)と、その語の和訳を示している。和訳については、羽田(1937)、田村ほか(1966-1968)、福田(2008)等を参考にした。なお、和訳は『小兒論』中の文脈に限定した意味ではなく、一般的な語義に基づくものとする。

[2] 第1列の動詞については、原則として未完了形とその和訳を記載している。ただし、『小兒論』における記録が未完了形以外の形式である場合には、第1列に未完了形と和訳を示すとともに、その下の行には、対応する語形を併記している。

[3] 第2列には、『小兒論』に見られるハングル表記の満洲語文語の語形を示している。

\* 本稿は、中国国家社会科学基金後期資助項目「満語支語言音系学研究」(課題番号 22FMZB009)の助成を受けた研究成果の一部である。

[4] 第3列は、当該語形が『小兒論』原書のどこに出現しているかを示したものである。たとえば「(1a-2-3)」は「第1葉a面-第2行-第3語」を表す。「第X語」とは、ハングル表記の満洲語文語のみを対象に順に計数した場合のX番目に現れる語を指す（ハングル表記の満洲語文語以外の語は計数から除外する）。

表1：『小兒論』ハングル表記満洲語文語索引

メレンドルフ式転写と和訳	ハングル表記	出現箇所
abka 「空」	압카	(4b-4-4)
abkai 「空(そら)の」	압개	(1a-4-1)
acambi 「会う；合う」	---	---
acafi	아차피	(9b-2-1)
adali 「同様」	아다리	(9a-4-2)
adaram 「如何に」	아다라머	(4b-3-2) (10a-4-1) (10b-2-3)
ai 「何；何の」	애	(4a-3-3) (4b-1-1) (5b-1-5) (5b-3-1) (5b-4-2) (5b-5-3) (6a-1-4) (6a-2-4) (6a-3-5) (6a-5-1) (6b-1-2) (6b-2-3) (6b-3-4) (10a-2-2) (12a-1-3) (12a-5-5) (12b-4-5)
aihūma 「すっぽん」	애후마	(4a-5-2) (12a-5-3)
ainu 「なぜ」	애누	(2a-1-6) (2b-5-4) (5a-2-4) (9b-3-5)
ajige 「小さい」	아지거	(1b-2-3) (2b-5-1) (3b-1-3) (5a-2-1) (8a-2-1) (9b-3-2) (12b-4-3)
akū 「無い」	아쿠	(3b-2-4) (3b-3-4) (3b-4-4) (4a-2-4) (4a-4-5) (4b-2-2) (5b-3-5) (5b-5-1) (6a-1-2) (6a-2-2) (6a-3-3) (6a-4-4) (6a-5-5) (6b-2-1) (6b-3-2) (6b-4-3) (7a-2-2) (7a-3-2) (7a-4-2) (7a-5-2) (7b-1-1) (7b-2-1) (7b-3-1) (7b-4-1) (7b-5-1) (8a-1-1) (10b-3-2) (11a-3-3) (11b-5-3) (12a-2-3)
alin 「山」	아린	(3b-2-2) (4a-2-2)
amasi 「後に」	아마시	(5a-5-4)
amba 「大きい」	암바	(10b-5-5) (11b-2-2) (12b-4-1) (13a-1-3)
ambula 「多い；大いに」	암부라	(3a-1-1) (9b-4-2) (13a-4-5)
amuran 「好き」	아무란	(2a-4-1) (2b-1-1)
antaha 「客」	안타하	(9b-1-4)
bade 「所に/で；～のに」	바더	(10a-3-4)
bahambi 「得る」	바함비	(4b-4-3)
baibi 「徒らに」	배비	(1b-5-2) (9b-1-2)
banjimbi 「暮らす；生む；生まれる」	반짐비	(4a-4-1)
banjiha	반지하	(7a-3-4)
banjinambi 「生ずる」	반지남비	(8a-4-2) (8a-5-4)
bargiyambi 「収める；収穫する」	발감비	(2b-2-2)

be 「を」	버	(1a-3-4) (1b-4-3) (2b-1-5) (2b-4-1) (3a-2-3) (3a-4-5) (3b-2-3) (3b-3-3) (3b-4-3) (4a-2-3) (4a-4-4) (4b-2-1) (4b-3-1) (4b-5-4) (5a-3-3) (5a-4-4) (5b-2-2) (6b-5-4) (8a-4-4) (8a-5-6) (8b-2-2) (8b-3-2) (8b-3-5) (9a-5-4) (9b-1-5) (10a-1-3) (10a-2-4) (10a-5-5) (13b-2-1) (simbe の行も参照)
bederembi 「戻る、退く、帰る」	---	---
bederefi	버더리피	(5a-5-5)
bethe 「足」	벌히	(11a-4-3) (12a-3-3) (12b-1-1)
bi 「私」	비	(5a-3-5) (8a-3-1) (10a-2-1) (13a-2-3)
bi 「ある ; いる」	비	(4b-1-4)
bihe	비히	(13a-3-3)
bio	뵤	(2a-2-2)
bira 「川」	비라	(3b-3-2) (4a-4-3)
bodombi 「考える ; 計算する」	---	---
bodorakū	보도라쿠	(2b-3-3)
boihon 「土」	뵤혼	(7b-3-2)
boljombi 「約束する ; 予測する」	---	---
boljoci	볼쵸치	(4b-5-5)
boo 「家 ; 部屋」	보	(1a-3-3)
booi 「家の ; 部屋の」	부	(8a-5-1)
buyembi 「愛する」	---	---
buyerakū	부여라쿠	(2b-4-2)
cendembi 「試す」	---	---
cendeme	첸더머	(13a-2-5)
coko 「鶏」	초코	(8b-1-2) (9a-2-4)
cuse 「竹」	쥬스	(12a-1-1)
dahambi 「付き従う ; 従う ; 降伏する」	---	---
dahame	다하머	(13b-3-2)
daniyan 「遮蔽した処」	다난	(4a-3-4) (4b-1-2)
dasambi 「直す ; 治す ; 治める」	---	---
dasame	다사머	(1a-3-5)
de 「に ; で」	더	(1a-4-5) (1b-1-2) (1b-2-2) (2a-3-5) (2a-5-5) (4a-3-5) (4b-1-3) (5b-3-3) (5b-4-4) (5b-5-5) (6a-1-6) (6a-3-1) (6a-4-2) (6a-5-3) (6b-1-4) (6b-2-5) (6b-4-1) (7a-1-5) (7a-2-5) (7a-3-6) (7a-4-5) (7a-5-4) (7b-1-4) (7b-2-4) (7b-3-4) (7b-4-4) (7b-5-4) (8b-5-4) (10a-5-5) (10b-1-5) (10b-4-3) (11a-5-4) (12a-4-4) (12b-2-1)

		(bade, fonde, minde, ninggude, wede の行も参照)
deberen 「動物の仔」	더버런	(6b-4-2) (7b-4-5)
den 「高い」	던	(3b-2-1) (4a-2-1)
dere 「～であろう」	드러	(3a-5-3)
dolo 「内」	도로	(11a-2-4) (11b-4-3) (12a-1-4)
donjimbi 「聴く」	---	---
donji	돈지	(3b-1-6)
donjifi	돈지피	(10a-1-4)
donjihala	돈지하라	(13b-1-1)
dorgi 「内」	돌기	(10b-1-4)
doro 「道理；礼儀」	도로	(4b-2-5)
efimbi 「遊ぶ」	---	---
efimbihe	어핌비허	(1b-4-1)
efirakū	어피라쿠	(1b-5-1) (2a-2-1)
efire	어피러	(2b-3-4)
efin 「遊び」	어핀	(2a-3-4) (2a-5-4)
eigen 「夫」	에건	(5b-4-5) (7a-3-1)
ejen 「主」	어전	(8b-3-1) (9a-5-3)
emu 「一」	어무	(5a-4-2)
enduri 「神」	언두리	(7a-2-3)
ere 「この；これ；この人」	어러	(2a-1-3) (6b-5-1) (13b-3-1)
facuhūn 「乱れた」	파츄훈	(2a-5-1)
fafun 「法」	파푼	(4b-2-4)
fejergi 「下」	퍼절기	(1a-4-2)
fejile 「下に」	퍼지러	(4b-5-1)
fili 「中空でない、堅く詰った；堅実な」	피리	(11a-2-5) (11b-4-4) (12a-1-5)
fon 「時」	폰	(13a-5-3)
fonde 「時に」	폰더	(1a-2-5)
fonjimbi 「問う」	폰짐비	(5a-4-5) (5b-2-3) (8a-3-3)
fonji	폰지	(9b-5-3)
fonjiha	폰지하	(13a-3-2)
fonjiki	폰지키	(10a-5-5)
fonjime	폰지머	(3b-1-2)
fonjirakū	폰지라쿠	(10a-3-3)
fonjire	폰지러	(3a-2-1) (3a-4-3) (10a-2-5)
fucihi 「仏」	푸치히	(7a-1-4)
fudasihūn 「逆の」	푸다시훈	(9a-2-1)

fudzy 「夫子」 <sup>1</sup>	푸즈	(1a-3-1) (1b-1-4) (1b-4-2) (2a-1-1) (2b-4-3) (3a-4-1) (3b-1-1) (5a-1-2) (5b-2-4) (8a-1-3) (9b-2-4) (10a-3-1) (11a-1-2) (13a-2-1)
gala 「手」	가라	(5b-1-2)
garu 「白鳥」	가루	(10b-3-4) (11a-4-1) (12a-3-1)
gebu 「名」	거부	(6a-1-1) (7a-4-1)
geli 「また」	거리	(5a-4-1) (5b-4-1) (5b-5-2) (6a-1-3) (6a-2-3) (6a-3-4) (6a-4-5) (6b-1-1) (6b-2-2) (6b-3-3) (8a-3-2)
gemu 「皆」	거무	(3a-2-4)
genembi 「行く」	---	---
genere	거너러	(1b-1-5)
geren 「諸々の ; 多くの」	거런	(1a-4-3) (9b-1-3) (10b-1-1)
gese 「～のような」	거서	(6b-5-2)
getuken 「明白な、明晰な」	거투컨	(13a-4-3)
giranggi 「骨」	기랑기	(9a-4-1)
gisun 「言葉」	기순	(3a-4-4) (10a-2-3)
giyang (jiyang giyang 「(地名)」)	강	(1a-5-4)
golmin 「長い」	골민	(11b-1-3) (12b-3-1) (12b-5-2)
golo 「省 ; 地方」	고로	(1a-4-4)
gurun 「国」	구룬	(1a-2-3) (1a-3-2) (2a-4-3)
guwembi 「鳴く ; 鳴る」 <sup>2</sup>	---	---
guwendere	권더러	(10b-5-3) (12b-3-3) (13a-1-1)
guwenderengge	권더렁거	(11b-2-1)
gūnimbi 「思う」	---	---
gūniha	구니하	(10a-5-5)
gūwambi 「吠え立てる」	괘비	(8b-3-3) (9a-5-5) (9b-2-2)
hafan 「官」	하판	(2a-3-2) (2b-3-1) (3b-4-1) (4b-1-5) (6a-2-1) (7a-5-1)
han (han gurun 「漢朝」) <sup>3</sup>	한	(1a-2-2)

<sup>1</sup> 満洲文字において漢語 c, z, r, s, ch, zh など（便宜上、ここでは漢語音をピンインで表記する）に対応する文字のメレンドルフ式転写については、von Möllendorff (1892) 本文前の THE ALPHABET 表下の For transcribing Chinese syllables、および早田 (2008: 32) を参照されたい。なお、早田 (2008: 32) は、メレンドルフ式転写を改良する独自の転写案を提示している。例えば、漢語の z, zi に対応する満洲文字の転写を区別し、それぞれ dz, dzY と転写する。本稿でも早田 (2008: 32) に従って両者を区別するが、後者については dzy と転写する。

<sup>2</sup> 『増訂清文鑑』には、guwembi 「鳥鳴」、guwembi 「響」、guwembi 「脱免」、guwendembi 「屢鳴」が収録されている。Заяков (1875: 367, 368) によれば、guwembi 「鳴く ; 鳴る」と guwembi 「罪を免れる」の未完了連体形は、前者が guwendere、後者が guwere であり、guwendembi の未完了連体形も guwendere とされる。なお、胡増益 (2020: 1352) には、guwembi 「鳴く」の未完了連体形が guwere となる例も収録されている (zhar zhar seme の例 dule zhar zhar seme guwere zhargima kai 「原来是 (两翅撞着) 叫的蚂蚱呀!」を参照)。

<sup>3</sup> 早田 (2009: 139) が指摘しているように、「皇帝」を表す han における n には左側に付点が付かないのに対し、「漢」を表す han の n には左側に付点が付く。一方、『小兒論』原書におけるこの han 「漢」の n には、左側の付点が見られない。

hecen 「城」	허천	(1b-1-1) (1b-3-3) (6a-1-5) (7a-4-4)
hehe 「女」	허허	(5b-4-3) (7a-2-4)
hendumbi 「言う」	헌뎡비	(13b-2-5)
hendume	헌두머	(2a-1-2) (2b-4-4) (5a-1-3) (5b-1-4) (5b-2-5) (8a-1-4) (9b-3-1) (11a-1-3) (13a-2-2)
hendure	헌두리	(10a-1-2)
hida 「竹簾；蒸籠の竹簀子」	히다	(9a-2-3)
hude 「船尾」 <sup>4</sup>	후더	(6a-3-2) (7a-5-5)
hūcin 「井戸」	후친	(7b-5-2)
hūsun 「力」	후순	(4b-4-2)
i 「の；で」	이	(1a-2-4) (2a-4-4) (3a-4-2) (10a-3-2) (10b-1-3) (13a-5-4) (abkai, booi, ini, julgei, mini, sini の行も参照)
ihan 「牛」	이한	(6b-1-3) (7b-3-3) (1b-2-4) (2a-2-3) (3a-3-2) (4a-1-2) (5a-5-1) (6b-5-6) (8b-4-1) (9b-5-4) (11b-3-1) (13b-1-3)
ilibumbi 「立てる」	---	---
ilibuha	이리부하	(9a-2-2)
ilimbi 「立つ」	---	---
ilifi	이리피	(1b-3-2)
indahūn 「犬」	인다훈	(8b-2-4) (9a-5-1)
ini 「彼の；彼女の」	이니	(8b-2-5) (9a-5-2)
irgen 「民」	일건	(2a-5-2) (2b-3-2) (4b-3-4)
isinambi 「着く、至る」	이시남비	(1b-1-3)
jabumbi 「答える」	자뵤비	(3a-5-2)
jabumbio	자뵤보	(3a-3-1)
jabume	자부머	(2a-3-1) (3a-3-5) (4a-1-5) (7a-1-3) (8b-4-4) (10a-1-5) (11b-3-4)
jai 「第二；更に」	재	(9b-5-2)
jakdan 「松」	작단	(10b-2-1) (11a-1-4) (11b-3-5)
jijiri 「筵」	지지리	(9a-1-2)
jilgan 「声；音」	질간	(10b-5-4) (12b-3-4) (13a-1-2)
jiyang (jiyang giyang 「(地名)」)	장	(1a-5-3)
joolambi 「両手をつかねる」	---	---
joolafi	초라피	(5b-1-3)
jortai 「故意に」	쥬태	(13a-3-1)
juciba 「螢」	쥬치바	(7b-1-2)
jugūn 「道」	쥬군	(1b-2-1)

<sup>4</sup> 満洲語文語の hude は通常「船尾」の意味であるが、『小兒論』原文における hude は、ai sejen de hude akū「何の車に hude がないか」と kiyoo de hude akū「轎に hude がない」に現れており、「船尾」ではなく、「車尾」・「轎尾」の意味である可能性がある。Lie (1972) による『小兒論』のドイツ語訳では、ここの満洲語文語の hude をドイツ語の Rückteil「後部」に訳している (Lie 1972: 83, 84)。一方、『小兒論』原文における満洲語文語の hude の朝鮮語訳は「뒀」であり、南廣祐 (1997: 772) と高麗語言研究院 (2006: 684) によると、中世朝鮮語の「뒀」は現代語の「바퀴」(車輪) に対応する。

jui 「子」	쥬	(2a-1-4) (2a-2-5) (2b-5-2) (3a-3-4) (3b-1-4) (4a-1-4) (5a-2-2) (5a-5-3) (7a-1-2) (7a-3-5) (8a-2-2) (8b-4-3) (9b-3-3) (11b-3-3) (13b-1-5)
	쥬	(9b-5-6) <sup>5</sup>
juleri 「南(に) ; 前(に)」	쥬러리	(8a-5-2)
julgei 「昔の」	쥬게	(1a-2-1)
juse 「子供達 ; 子供」 <sup>6</sup>	쥬서	(1b-2-5)
juwari 「夏」	쥬와리	(10b-3-1) (11a-3-2) (11b-5-2) (12a-2-2)
juwe 「二」	쥬위	(5b-1-1)
kai 「指定や断定の終助詞」	캐	(8a-1-2) (9a-4-5) (9b-2-3) (11b-2-3)
kambi 「囲む ; 遮る」	---	---
kame	카머	(1b-3-1)
kekuhe 「鳥の名」	커쿠허	(10b-5-2) (11b-1-1) (12b-2-4)
kiyoo 「轎」	코	(7a-5-3)
lefu 「熊」	러푸	(4a-3-2)
mailasun 「柏」	매라순	(11a-2-2) (11b-4-1)
minde 「私に」	민더	(9b-5-1)
mini 「私の」	미니	(3a-1-4)
monggon 「首」	몽곤	(11b-1-2) (12b-2-5) (12b-5-1)
moo 「樹木 ; 木材 ; 棒」	모	(7b-2-2) (10b-1-2) (10b-2-2) (11a-2-1) (11a-2-3) (11b-3-6) (11b-4-2) (12a-1-2)
morin 「馬 ; 午」	모린	(6b-2-4) (7b-2-3)
mujakū 「実に、極めて」	무자쿠	(13b-2-2)
mujilen 「心」	무지린	(10a-4-4)
muke 「水」	무커	(6a-4-1) (7b-5-3) (10b-4-2) (11a-5-3) (12a-4-3) (12b-1-4)
narhūn 「細い、細かい」	날훈	(9a-1-1)
neigen 「釣り合って、公平に」	네건	(3b-5-3) (4b-5-2)
nimaha 「魚」	니마하	(4a-5-3) (6a-4-3) (7b-5-5) (12a-5-4)
nimalan 「桑」	니마란	(2b-1-4)
ninggude 「上に/で」	닝구더	(8a-3-5)
nio 「～か」	뇨	(6b-4-4) (11a-1-1)
niongniyaha 「鷺鳥」	농냐하	(10b-4-1) (11a-4-2) (12a-3-2)
niowanggiyan 「緑」	뽕간	(10b-3-3) (11a-3-4) (11b-5-4) (12a-2-4)
niyalma 「人」	날마	(2a-3-3) (2a-5-3) (3b-4-2) (4b-1-6) (4b-3-5) (5b-3-2) (5b-5-4) (13b-1-2)
niyerembi 「水に浮く」	---	---

<sup>5</sup> 原文における jui のハングル表記は通常「쥬」であるが、本例のみ「쥬」と記されている。これは誤記であるか、あるいは墨の欠落によるものと考えられる。

<sup>6</sup> 早田 (1988: 16) によれば、『満文金瓶梅』における juse は、しばしば一人の「子供」を指す。したがって、本稿では「子供達」という訳に加えて、「子供」という訳も併記している。なお、筆者が調査した満洲語三家子方言においても、juse が一人の「子供」を指す用法が確認されている。

niyerere	녀러러	(10b-4-4) (11a-5-5) (12a-4-5) (12b-2-2)
obumbi 「する」	---	---
obuci	오부치	(4a-2-5) (4a-5-1) (4b-2-3)
obuki	오부키	(3b-2-5) (3b-3-5) (3b-4-5)
ombi 「なる」	---	---
oci	오치	(2a-4-2) (2b-1-2) (3b-5-2)
ofi	오피	(2b-2-4) (9a-4-3) (11a-2-6) (11a-5-2) (11b-1-4) (11b-4-5) (12a-1-6) (12a-4-2) (12b-1-3) (12b-3-2) (12b-5-3)
ojorakū	오조라쿠	(5a-1-1)
ojorakūn	오조라쿤	(4a-1-1)
ojoro	오조로	(4b-5-3)
onco 「広い」	온초	(11a-5-1) (12a-4-1) (12b-1-2)
sahambi 「積む」	---	---
sahafi	사하피	(1b-3-4)
sain 「良い」	샐	(3a-2-5) (3a-5-1) (10a-2-6) (10a-4-2) (10b-5-1) (11a-5-6) (12a-5-1) (12b-2-3) (13b-2-3)
saišambi 「賞賛する」	새삼비	(13a-5-1)
sambi 「知る」	삼비	(3a-1-2) (5a-3-4) (9b-4-3)
saci	사치	(8a-2-5)
sambio	삼뵈	(6b-5-5) (8a-4-5) (8b-1-1) (8b-2-3) (8b-3-6)
sarangge	사랑거	(13a-4-1)
sargan 「妻」	살간	(5b-3-4) (7a-2-1)
se 「歳」	서	(2a-2-4) (3a-3-3) (4a-1-3) (5a-5-2) (7a-1-1) (8b-4-2) (9b-5-5) (11b-3-2) (13b-1-4)
sejen 「車」	서전	(6a-2-5)
sektembi 「敷く」	---	---
sektore	석터러	(8b-5-5)
sembi 「言う」	슴비	(13a-1-4)
seci	스치	(11b-5-5) (12a-5-2) (12b-4-2)
seme	스머	(13a-4-4) (13b-2-4)
sere	스러	(8a-4-3) (8a-5-5) (8b-2-1) (8b-3-4)
serengge	스렁거	(8b-5-2) (9a-1-4) (9a-3-3) (9b-1-1)
si 「あなた」	시	(2a-1-5) (2b-5-3) (3a-1-3) (3b-1-5) (5a-2-3) (8a-2-3) (9b-3-4) (9b-4-4)
simbe 「あなたを」	심버	(13a-2-4)
sini 「あなたの」	시니	(13a-3-4)
sishe 「敷布団」	싯허	(8a-3-4) (8b-5-3)
šanggiyan 「煙」	샹간	(6a-5-4) (7b-1-5)
šumin 「深い」	슈민	(3b-3-1)
šurdembi 「まわる；めぐる」	---	---
šurdeme	술더머	(1a-5-1)
tacimbi 「勉強する」	---	---



tacime	타치머	(4b-3-3)
tasha 「虎」	탓하	(4a-3-1)
te 「今」	터	(10a-4-3)
tembi 「座る」	---	---
tehebi	터허비	(1b-5-3)
temen 「駱駝」	터먼	(6b-3-5) (7b-4-3)
teni 「つい今し方 ; ~てはじめて」	터니	(7a-3-3)
tere 「その ; それ ; その人 ; あの ; あれ ; あの人」	터러	(13a-5-2)
tukšan 「仔牛」	특산	(6b-1-5) (7b-3-5)
tuttu 「そのように ; あのよう に」	툼투	(2b-2-3) (2b-5-5) (3b-5-1) (5a-2-5) (8a-2-4) (9a-4-4) (9b-4-1)
tuwa 「火」	투와	(6a-5-2) (7b-1-3)
tuwambi 「見る」	---	---
tuwafi	투와피	(1b-4-4)
tuweri 「冬」	투워리	(10b-2-4) (11a-3-1) (11b-5-1) (12a-2-1)
ubaliyambi 「転変する ; 覆る」	우바람비	(8b-1-4) (9a-3-2)
ufa 「穀粉」	우파	(7b-4-2)
ulhū 「葦」	울후	(8a-5-3) (9a-1-3)
ulhūma 「雉」	울후마	(8b-1-3) (9a-3-1)
umesi 「甚だ」	우머시	(13a-4-2)
unahan 「生後一年未滿の仔馬」	우나한	(6b-3-1) (7b-2-5)
ungge 「野菜の名」	웅거	(8a-4-1) (8b-5-1)
untuhun 「空の」	운투훈	(7a-4-3)
usin 「田畑」	우신	(2b-1-3)
uttu 「このように」	운투	(10a-1-1)
wajimbi 「終わる」	---	---
wajiha	와지하	(13b-3-3)
wakšan 「がま」	왁산	(12b-4-4)
we 「誰」	위	(2b-2-1)
wede 「誰に」	위더	(4b-4-1)
weile 「罪 ; 事」	웨러	(2a-4-5) (3a-2-2) (5a-3-2) (5a-4-3) (5b-2-1) (6b-5-3) (10a-5-5)
yabumbi 「行く、歩く ; 行う」	---	---
yabuhai	야부해	(1a-5-2)

## 参考文献

<日本語で書かれた文献>

池上二良 (1951) 「満洲語の諺文文献に関する一報告」『東洋學報』33(2): 97-118.

池上二良 (1954) 「満洲語の諺文文献に関する一報告 (承前)」『東洋學報』36(4): 57-74.

池上二良 (1963) 「ふたたび満洲語の諺文文献について」『朝鮮學報』26: 94-100.

- 今西春秋 (1958) 「漢清文鑑解説」『朝鮮學報』12: 21-58.
- 小倉進平 (1914a) 「朝鮮に於ける日漢滿蒙語辭書」『朝鮮及滿洲』83: 40-46.
- 小倉進平 (1914b) 「朝鮮に於ける日・漢・滿・蒙語讀本」『東洋學報』4(2): 244-266.
- 菅野裕臣 (2005) 「朝鮮司訳院の清學書のハングル対音の性格について」『韓国語學年報』1: 1-8.
- 岸田文隆 (1989) 「清學書に現れた滿洲語ハングル表記について：特に滿洲字 e に対する 2 通りのハングル表記をめぐって」『言語学研究』8: 17-38.
- 田村實造・今西春秋・佐藤長(1966-1968)『五體清文鑑譯解』京都：京都大學文學部内陸アジア研究所.
- 羽田亨 (1937)『滿和辭典』京都：京都帝國大學滿蒙古調查會.
- 早田輝洋 (1988) 「滿洲語文語における或る単語の単数と複数について：『滿文金瓶梅』の asihan と asihata」『九大言語学研究室報告』9: 1-17.
- 早田輝洋 (2008) 「滿洲語の音節構造：音節節約を中心にして」寺村政男・久保智之・福盛貴弘 (編)『語学教育フォーラム (第 16 号)：言語の研究—ユーラシア諸言語からの視座—』21-51. 東京：大東文化大学語学教育研究所.
- 早田輝洋 (2009) 「滿洲字概説：有圈点滿洲字篇」久保智之・林徹・藤代節 (編)『チュルク諸語における固有と外来に関する総合的調査研究』129-167. 福岡：九州大学人文科学研究院言語学研究室.
- 福田昆之 (2008)『増訂滿洲語文語辞典』横浜：FLL.
- 和田景子 (2013)『『漢清文鑑』における滿洲語のハングル表記：特に滿洲語の文字連続 CVwV を中心に』寺村政男 (編)『大東文化大学日本語学科 20 周年記念論文集』244-255. 東京：大東文化大学日本語学科.

#### <韓国語で書かれた文献>

- 高麗語言研究院(2006)『조선말 고어사전 (朝鮮語古語詞典)』牡丹江：黑龍江朝鮮民族出版社.
- 南廣祐(1997)『教學 古語辭典』서울: 교학사.
- 성백인(1984) 「譯學書에 나타난訓民正音 사용: 司譯院 清學書의 만주어 한글 표기에 대하여」『한국문화』5: 21-63.
- 邵磊(2011)「『漢清文鑑』을 통해 본 滿文의 한글表記法」『中韓文化關係國際學術會議論文集』290-308.

#### <中国語で書かれた文献>

- 崔宰宇 (1997)『『漢清文鑑』의 編排體例和語音轉寫』『中央民族大學學報 (社會科學版)』1997(3): 82-89.
- 胡增益 (主編) (2020)『新滿漢大詞典 (第 2 版)』北京：商務印書館.
- 邵磊 (2016) 「清-朝鮮時期漢·滿·韓互譯中的文字對音：以『漢清文鑑』滿文的韓文表記法為例」『編譯論叢』9(2): 57-92.
- 邵磊・多麗梅 (2022) 「海外中國典籍的多語轉寫研究：以『清語老乞大』漢語-滿文的朝鮮文轉寫為例」『東方語言學』2022(2): 17-25.
- 邵磊・多麗梅 (2023) 「『三譯總解』滿文的朝鮮文轉寫研究」『滿學研究』2023: 195-204.
- 邵磊・金龍軍 (2022) 「清代滿朝對音文獻中的特殊轉寫：以滿文-w 系復元音的朝鮮文轉寫為中心」『民族翻譯』2022(4): 77-86.
- 邵磊・林茶英 (2022) 「論朝鮮清學書滿朝對音中的音節對稱與不對稱」『滿語研究』2022(2): 69-74.

邵磊・任國俊（2023）「清學書中の朝鮮文『圈點字』研究」『民族翻譯』2023(3): 78-88.  
邵磊・王敵非（2022）「『清語老乞大』滿文的朝鮮文轉寫研究」『滿族研究』2022(2): 89-95.  
王敵非（2013）「『清語老乞大』滿朝對音研究」『黑龍江民族叢刊』2013(6): 155-158.

<英語・ドイツ語で書かれた文献>

Ikegami, Jiro. (1990) Significance of Korean materials in the study of Manchu. *Altai Hakpo*. 2: 71-77.  
Lie, Hiu. (1972) *Die Mandschu-Sprachkunde in Korea*. Bloomington: Indiana University.  
von Möllendorff, Paul Georg. (1892) *A Manchu Grammar with Analysed Texts*. Shanghai: American Presbyterian Mission Press.

<ロシア語で書かれた文献>

Захаров, И.И. (1875) *Полный Маньчжурско-Русский Словарь*. СПб.: Типография Императорской Академіи Наукъ.

# An Index to the Written Manchu Words Transcribed in Hangul in *So-a-ron*

Haibo WANG  
(Lingnan Normal University)

Keywords: *So-a-ron*, Hangul Transcription, Written Manchu

*So-a-ron* is one of the books compiled by the Bureau of Interpreters during the Joseon Dynasty in Korea. In this work, Written Manchu words were recorded in both the Manchu script and the Hangul transcription. Notably, the Hangul transcriptions do not always correspond directly to their Manchu script counterparts, suggesting that they may reflect phonetic nuances not fully represented in the Manchu script. This paper presents a Möllendorff-transcription-based index of Written Manchu words found in *So-a-ron*. By aligning the Hangul transcriptions with their equivalents in the Manchu script (represented in Möllendorff transcription), the index serves as a practical reference for exploring script correspondences and phonological details of Written Manchu.

(おう・かいは boljon@163.com)